



に向けた覚書の締結（3件）や、ビジネス案件を受注（34件）しています。

【覚書締結】

平成23年10月 ベトナム・ハイフォン市水道公社と上下水道整備に係る覚書を締結。今後5年以内に導入する配水ブロックシステムの技術的コンサルティング業務を実施することに合意。

平成23年12月 カンボジア鉱工業エネルギー省と主要9都市の水道基本計画策定に係る技術的コンサルティング業務について、本市が実施する旨の覚書を締結。

平成25年5月 ベトナム・ハイフォン市水道公社とベトナム国における上向流式生物接触ろ過設備（U-BCF）普及に向けた相互協力協定を締結。

【主な水ビジネス案件の受注】

《カンボジア》

- 平成23年3月 シェムリアップ市浄水場建設基本設計補完業務
- 平成23年8月 セン・モノロム市上水道整備事業受注内定（平成24年6月正式契約）
- 平成24年1月 カンポット市、ケップ市の水道事業計画及び管路計画に係る基礎調査業務
- 平成24年5月 バツタンバン市、コンポンチャム市の水道拡張整備の準備調査業務
- 平成25年2月 シェムリアップ市の下水道整備計画等策定業務
- 平成25年7月 プノンペン市におけるJCM案件形成可能性支援事業
- 平成25年8月 コンポンチャム市、バツタンバン市の上水道拡張計画
- 平成25年10月 カンボジア対象本邦下水道研修開催支援業務
- 平成26年5月 カンポット及びシハヌークビルにおける地方上水道拡張整備計画準備調査
- 平成26年5月 カンボジア・プノンペン水道公社における浄水場設備の効率化によるエネルギー削減（JCM案件組成調査）
- 平成26年8月 プノンペン都下水・排水改善プロジェクト

《ベトナム》

- 平成23年11月 ハイフォン市の配水ブロック整備に係る初期調査業務
- 平成24年2月 ハイフォン市の下水道人材育成業務
- 平成25年5月 ハイフォン市におけるU-BCF整備事業

平成25年12月 ベトナム国 地方上下水道セクター情報収集・確認調査

平成26年6月 厚労省ベトナム・ホーチミン市水道分野海外水ビジネス官民連携型案件発掘形成事業

平成26年7月 ベトナム・ハイフォン市アンズオン浄水場改善計画準備調査

平成27年3月 ベトナム・ハイフォン市水道公社マッピングシステム再構築業務

《インドネシア》

平成24年11月 スラバヤ市の下水道整備計画等策定業務

平成25年6月 スラバヤ市における低炭素都市計画策定のための技術協力（JCM案件）

平成26年2月 ジャカルタ特別州下水道整備事業に係る補完調査

平成26年9月 インドネシア対象本邦下水道研修開催支援業務

(3) 水ビジネスの国際戦略拠点づくり

平成24年4月、本市は国土交通省より、国際展開に先進的に取り組む地方公共団体として認定され、水・環境ソリューションハブ（WESHUB）の構成メンバーに登録されました。

現在、海外での競争力・優位性の確保、国際ビジネスの基盤強化を図るため、世界トップレベルの国内独自技術を結集・育成しながら、水循環システム運営・管理ノウハウを蓄積し、技術力を世界に発信する「ウォータープラザ」や、市内企業の技術・製品を展示するコーナーなどを備えた「ビジターセンター」を整備するなど「水ビジネスの国際戦略拠点づくり」を進めています。



参考：ウォータープラザ北九州



(1) 目的

「ウォータープラザ北九州」は、世界の水問題解決に向け、各種水資源を有効活用するために必要となる先進技術を実証研究し、また、研究の成果を、国内外に情報発信して技術普及を進めることを目的とした施設です。

施設内には、海水淡水化技術と下水処理水の再利用技術の統合による先進の省エネ型水循環システムの「デモプラント」と、企業等が機器を持ち込んで技術開発を行える「テストベッド」を備えており、官民がそれぞれの特徴を生かし、連携しながら、運営・管理も含めた総合的な水処理技術の実証を行い、先進の水循環ソリューションの提供を目指しています。

(2) 実証研究

「デモプラント」では、海水と下水から約1,400 m³/日の「質の高い水」をつくることができ、そのうち1,000 m³/日を九州電力(株)新小倉発電所へ発電用水として供給することで、システムの有効性や海外での事業化の可能性について、官民一体で実証研究を進めてきました。

また、「テストベッド」では、海水や下水など6種類の原水を利用し、企業等が、新しい水処理技術の研究開発を行っています。

(3) 平成26年度からの新たな活用

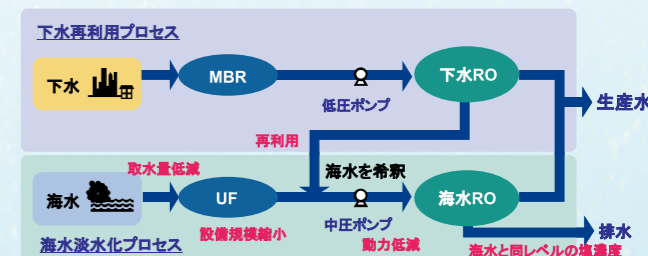
本市は（独）新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）より、平成25年度末で実証研究が終了した「ウォータープラザ北九州」の資産を引き継ぎました。今後は、「水ビジネスの国際戦略拠点」の中核施設として、戦略的に活用することで、官民一体での海外水ビジネスを加速させていきたいと考えています。

＜概要＞

- 開設時期：平成22年12月14日
- 本格運転開始：平成23年4月11日
- テストベッドでの実験開始：平成23年12月
- 資産譲渡：平成26年4月
- 開設場所：日明浄化センター内（小倉北区西港町）

＜システムの特徴＞

複数の膜技術を組み合わせることにより、省エネで環境にやさしい高品質な生産水をつくる



下水膜処理と海水淡水化の統合システム

- 省エネ** ・ポンプ動力を低減（30～40%）
- 低コスト** ・建設費、運転費を縮減
- 低環境負荷** ・排水の塩濃度を低減

- ※ MBR(Membrane Bioreactor)：膜分離活性汚泥法
- ※ UF膜(Ultrafiltration Membrane)：限外ろ過膜
- ※ RO膜(Rreverse Osmosis Membrane)：逆浸透膜



視察の様子

約5,900名(うち海外1,400名)が視察(平成26年度末現在)



ホームページ

<http://www.suidou.city.kitakyushu.lg.jp/waterplaza/>
※「ウォータープラザ北九州」で検索